

地下鉄・丸の内線で命の連鎖



令和2年3月17日（火）、走行中の電車内という特殊な環境や衆人環視の中で、迅速で適切な救命措置を行い、傷病者を救命した功績に対して、帝京大学病院医師・中澤佳穂子さん、松宮由利子さん、自営業の加藤明仁さん、駅員の山田重雄さんの4名に対し、消防総監感謝状が豊島消防署長より贈呈されました。

この事案は、令和2年2月7日、東京地下鉄丸の内線車内で卒倒し生命の危機に瀕していた男性に対し、乗り合わせていた医師や乗客、駅員により気道確保、胸骨圧迫心マッサージ、AED除細動等の救命処置、救急隊への的確な引き継ぎ等、救命の連鎖により生命の危機に瀕していた傷病者の尊い命が救われたものです。